

労働産業局 # 2 「八木 飛鳥」

映像・内容		コメント・テロップ
オープニング (10秒くらい)		「クラスみんなで乗り越えていったことで自信になりました」 「本当のゼロからだったらもっと混乱していました」 「自分もこんな感じになるのかなという世界が創造できて」
紹介	NA	平成18年度、東京都立中央・城北職業能力開発センター 板橋校を修了した八木飛鳥（やぎあすか）さん。現在は生活相談員として現場の介護業務の他、新規利用者様の契約や会議への参加、介護計画の作成などを行っています。
		ON「職業訓練校に通わないで、そのまま施設で働いていたら、きっと本当にわからない初心者の状態で入っていたと思うんですが、ヘルパー1級まで取らせていただいて、本当に厳しい授業だったり、課題があったりしたんですが、そういうのをクラスみんなで乗り越えていったことで自信にもなりまし、／ 細かい授業一つ一つがとてもそのあとの施設とかの生活に役立ったので、本当によかったと思っています。」
	NA	実際、職業能力開発センターでの経験はどのように役立っているのでしょうか。
		ON「介護技術もそうですし、コミュニケーション能力の向上というんですかね、お年寄りと接するときの接し方とか、いま増えてきている認知症の方との対応の仕方とか、接し方っていうんですかね。細かい所、介護技術の他にもレクレーションの方法とか、あと目が不自由な方のガイドの仕方とか、学校外にでて外で授業したりするんですが、そういうのも役立ったと思っています。」
	NA	八木さんはいま、仕事が充実していますが、さらなるステップアップを狙っています。
		ON「ケアマネージャーの資格も取ることができて、今後はケアマネージャーをやっていきたいと思っているので、もっともっと在宅で暮らす生活をする高齢者のために、よりよい余生というか、よりよい生活を送るためにはどうしていったら、どういう援助をしていったらいいのかなっていうところを考えてまた日々勉強していきたいなという所で思っています。」

	NA	そんな八木さんが職業訓練に関心のある方へ送る贈るメッセージとは…
		ON「入校して続けていけるだろうかとか、私にできるだろうか、僕にできるだろうかって心配になる方もいると思うんですが、入っていただければ周りは自分と同じ目標をもって、がんばっていく方ばかりなので、半年間でも一年間でも、同じ学びを続けていけるということは本当に素晴らしいことですし、友人と共に一緒に向上していくということは、話し合ったりとかしていくことの中で、授業で勉強すること以外にも学べることっていっぱいあるので、悩んでいる方は入校した方が自分のこれからのことを考えるととてもいい事だと思います。」
□□		

